

取扱説明書

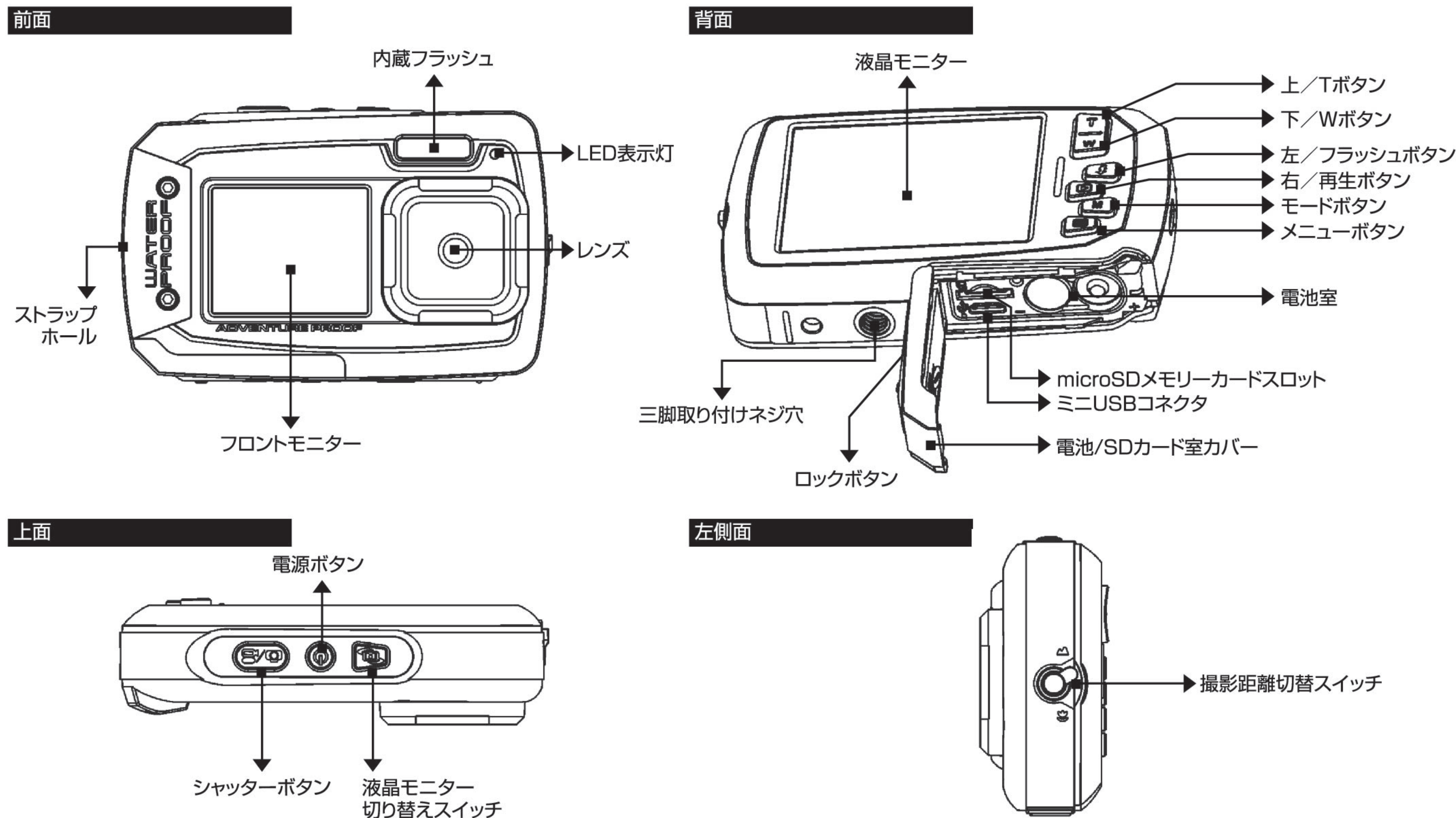
男前モノタロウ

注文コード: 66576168

両面モニター付きデジタルカメラ(乾電池式・防水タイプ)

このたびは、両面モニター付きデジタルカメラ(乾電池式・防水タイプ)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

各部の名称



ボタンの機能を紹介します

ボタン	名 称	機 能
	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	シャッターボタン	静止画モードでシャッターボタンを押すと静止画を撮影します。 動画モードでシャッターボタンを押すと動画を撮影します。再度押すと録画を停止します。
	液晶モニター切り替えボタン	液晶モニターとフロントモニターとの表示を切替えます。
	ズーム(上/T、下/W)ボタン	静止画/動画の撮影時、ズームボタンになります。 メニュー画面の時、上下に移動して項目を選択します。
	左/フラッシュボタン	メニュー画面の時、左へ移動して項目を選択します。静止画撮影時、内蔵フラッシュの切替えをします。
	右/再生ボタン	メニュー画面の時、右へ移動して項目を選択します。静止画/動画の再生をします。
	モードボタン	静止画/動画のモードを切り替えます。裏面の「モードの変更」をご覧ください。
	メニューボタン	静止画/動画の設定および、カメラの機能設定を行います。
	撮影距離切替スイッチ	撮影距離を切替えます。 標準/約0.7m~∞ マクロ/約13cm~18cm

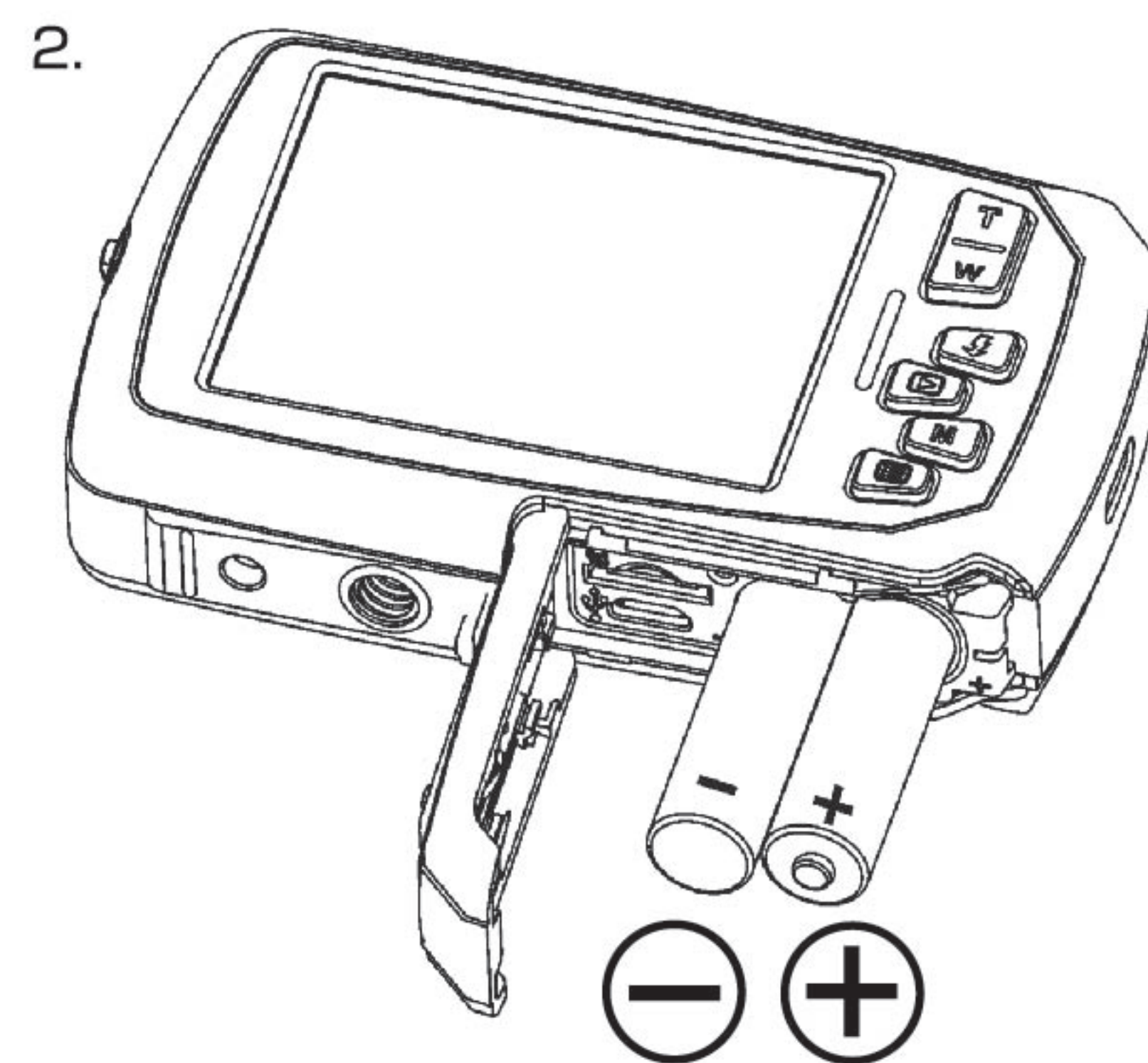
▶ 乾電池の取り付け

カメラに単4形アルカリ乾電池(別売)をセットします。

電池の取付けは、ここに示す方法で行ってください。

電池の取付方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災、浸水の原因になることもあります。

1. ロックボタンを液晶モニター方向にスライドしてロックを解除をしながら、電池/SDカード室カバーをストラップホール方向にスライドさせ開きます。
2. ⊕⊖方向を確認して、単4形アルカリ乾電池をセットします。
3. 電池/SDカード室およびカバーに砂などの異物や汚れがないことを確認してから電池/SDカード室カバーを閉じて軽く押しながら三脚取付ネジ方向にスライドさせ、ロックを確認してください。ロックが不十分な場合、防水性能が維持されません。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は⊕⊖方向に注意し、正しくセットしてください。



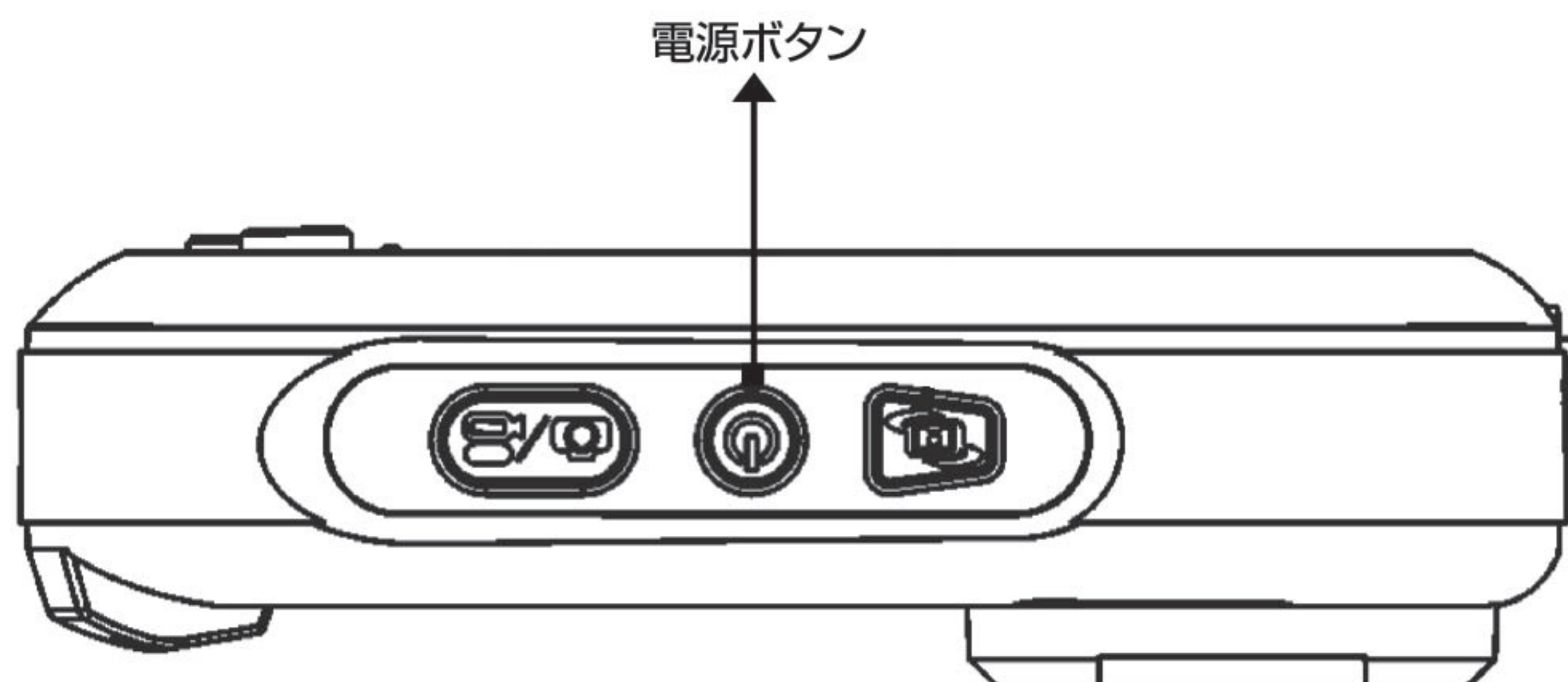
- ◆ 電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。
 - 電池残量は充分です。
 - 電池残量は約半分です。
 - 電池残量がわずかです。予備の電池を用意してください。
 - 「電池残量がありません」と表示され自動的に電源オフします。電池を交換してください。
- ◆ 単4形アルカリ乾電池をご使用ください。
- ◆ 電池をカメラの中に入れてまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間使用しないとき(およそ1ヶ月以上)は電池を取出してください。
- ◆ カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
- ◆ 電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

▶ 電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。

液晶モニターがオンします。

再度電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになります。



▶ microSD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する。

本製品で撮影した画像は、microSDメモリーカードに記録されます。

microSDメモリーカード(別売)をカメラ底面のmicroSDメモリーカードスロットにセットしてください。

動画・静止画撮影をすると自動的にmicroSDメモリーカードに記録されます。



microSDメモリーカード

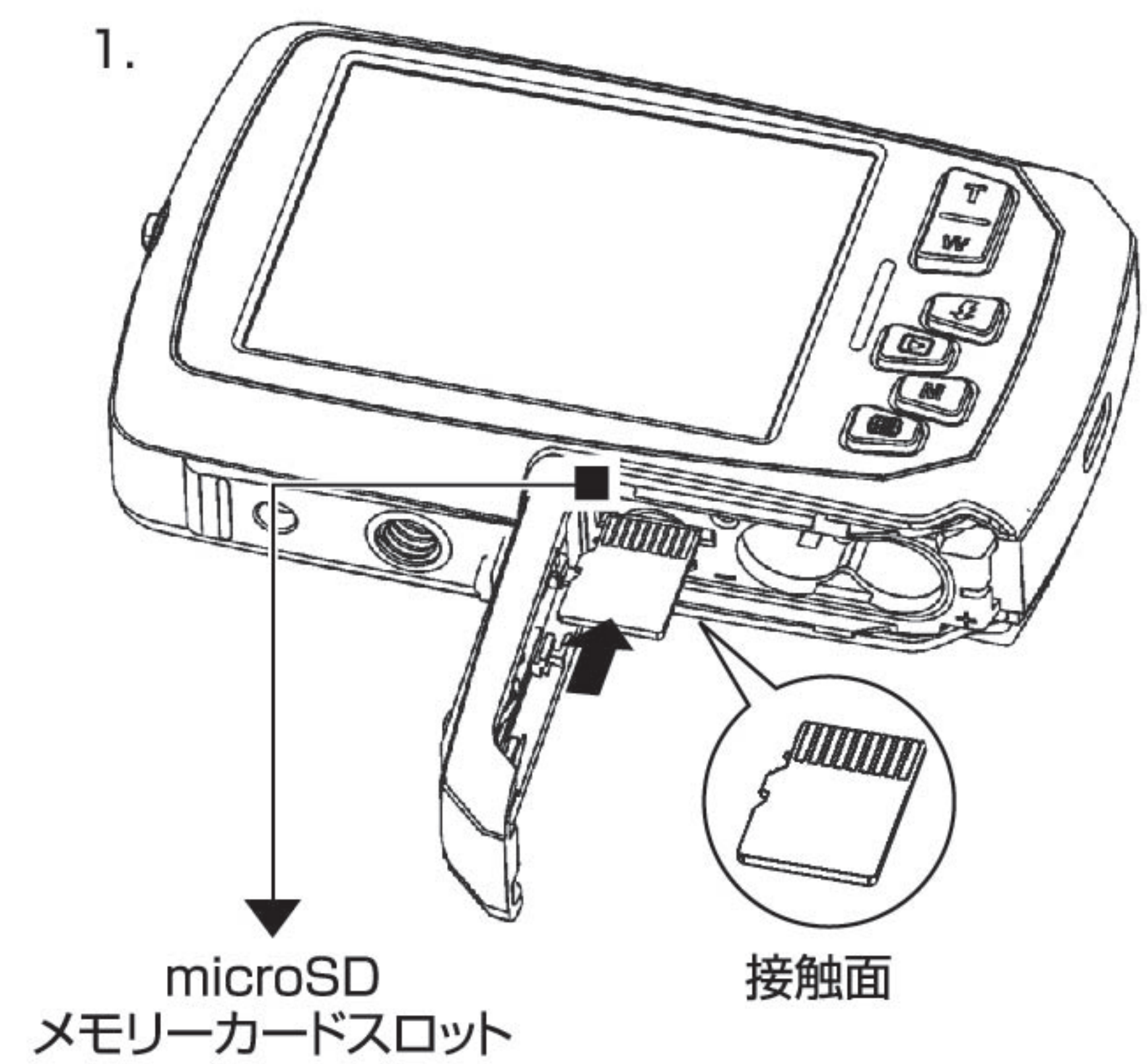


- このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、microSDメモリーカード512MB～2GB、microSDHCメモリーカード4GB～32GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品およびカードが故障する可能性があります。

microSD/SDHCメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードはカメラ底面のmicroSDメモリーカードスロットにセットします。

1. microSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードの接触面がカメラ後面側になるようにして、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで押込みます。
2. microSDメモリーカードを取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押込みます。microSDメモリーカードが少し飛び出ます。



- ◆ 新しいmicroSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめmicroSDメモリーカードのフォーマット（初期化）（下記参照）をしてください。
- ◆ 撮影した画像に付けられるファイル名の番号（IMG○○○○）はmicroSDメモリーカード内の画像を消去しても連続してカウントされます。
- ◆ カメラがmicro SDメモリーカードを認識すると液晶モニターに  アイコンが表示されます。



- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのmicroSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- 他のカメラなどで撮影したファイルが保存されたmicroSDメモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。必ずDSC1480DWでフォーマットしてから使用してください。

メモリーのフォーマット

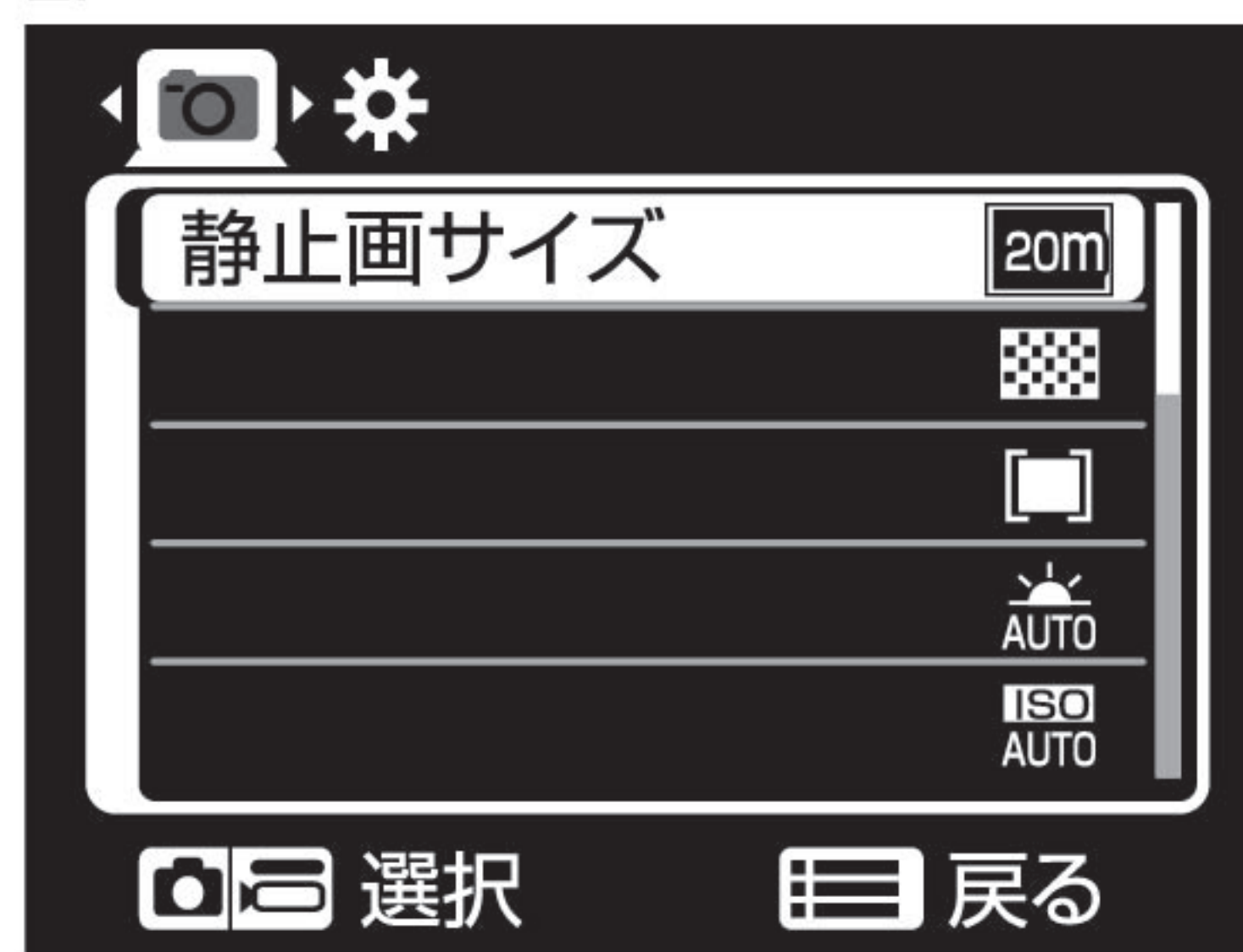
メモリーをフォーマット（初期化）する機能です。



- microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとmicroSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」を表示します。
3. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して「設定メニュー  」を表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して「フォーマット」を選択し、シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、「はい」または「いいえ」を選択し、シャッターボタン押して決定します。
はい : フォーマットします。
いいえ : フォーマットしません。
6. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.



3.



4.



5.



設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆ 黄色地が選択されています。

▶ 日付／時刻の設定

カメラを初めて使用する前に、日付／時刻を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押して「メニュー画面」表示します。
3. 左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して「設定メニュー 」を表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日付／時刻」を選択し、シャッターボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して、年を設定し、右／再生ボタンを押して項目を移動します。
左／フラッシュボタンを押すと前の項目に戻ります。
6. 年月日 時分すべての数値を調整したら、年月日の表示順を設定し、シャッターボタンを押して決定します。
年月日の表示はYY(年)／MM(月)／DD(日)となります。
7. メニュー画面に戻ります。
8. メニューボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.



4.



5.



設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆黄色地が選択されています。
- ◆日付／時刻は、静止画・動画共にファイルデータとして記録されますので、できる限り正確に設定してください。
- ◆日付／時刻もリセットすると出荷時の設定に戻りますのでご注意ください。

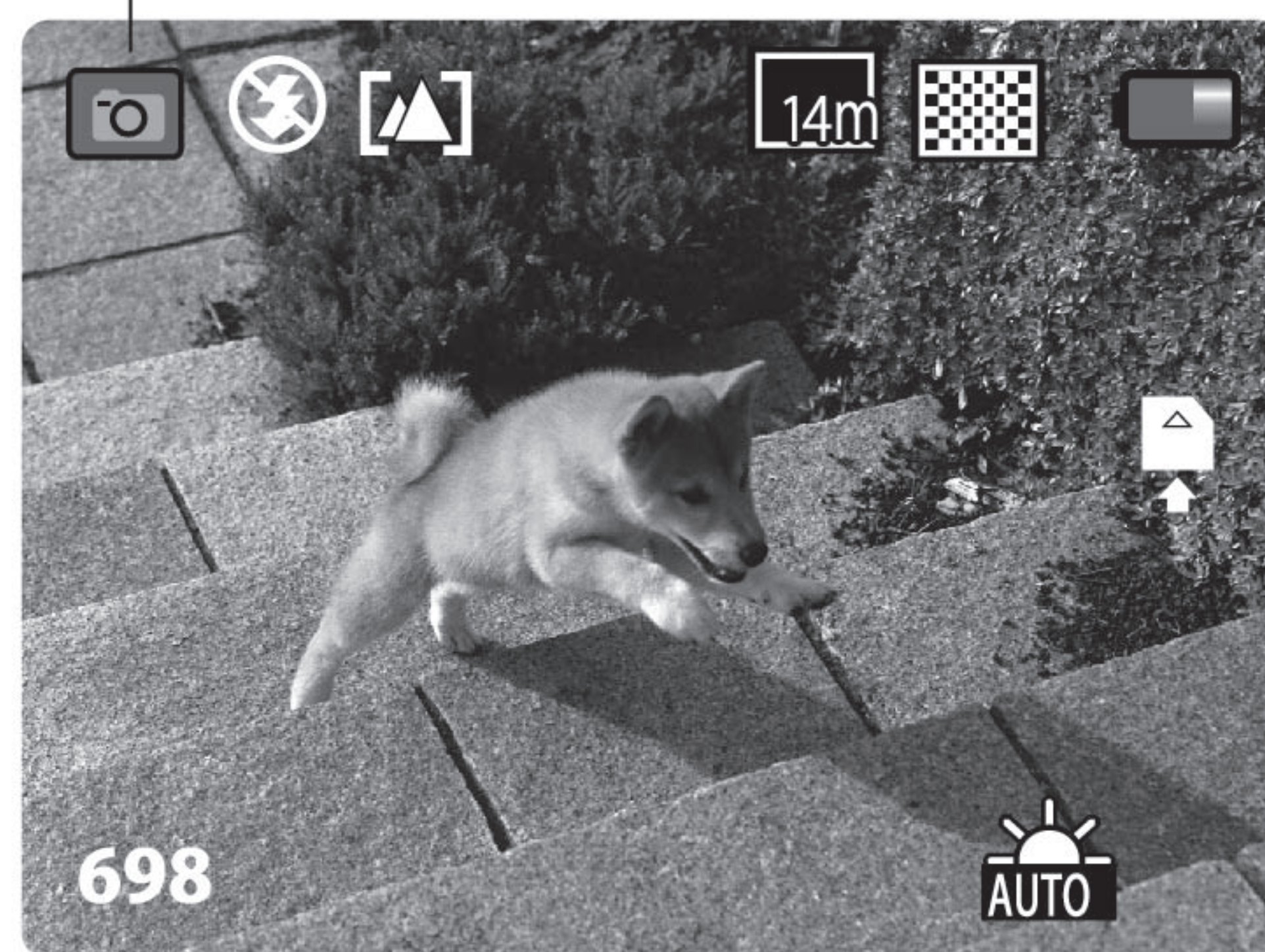
▶ 静止画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. 液晶モニター(またはフロントモニター)で、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
3. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
4. 撮影された静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。



- ◆水中で撮影した場合、全体に青っぽくなる場合があります。
お好みの色調にしたい場合は、画像ソフト(別売)で色補正してください。
- ◆設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モード



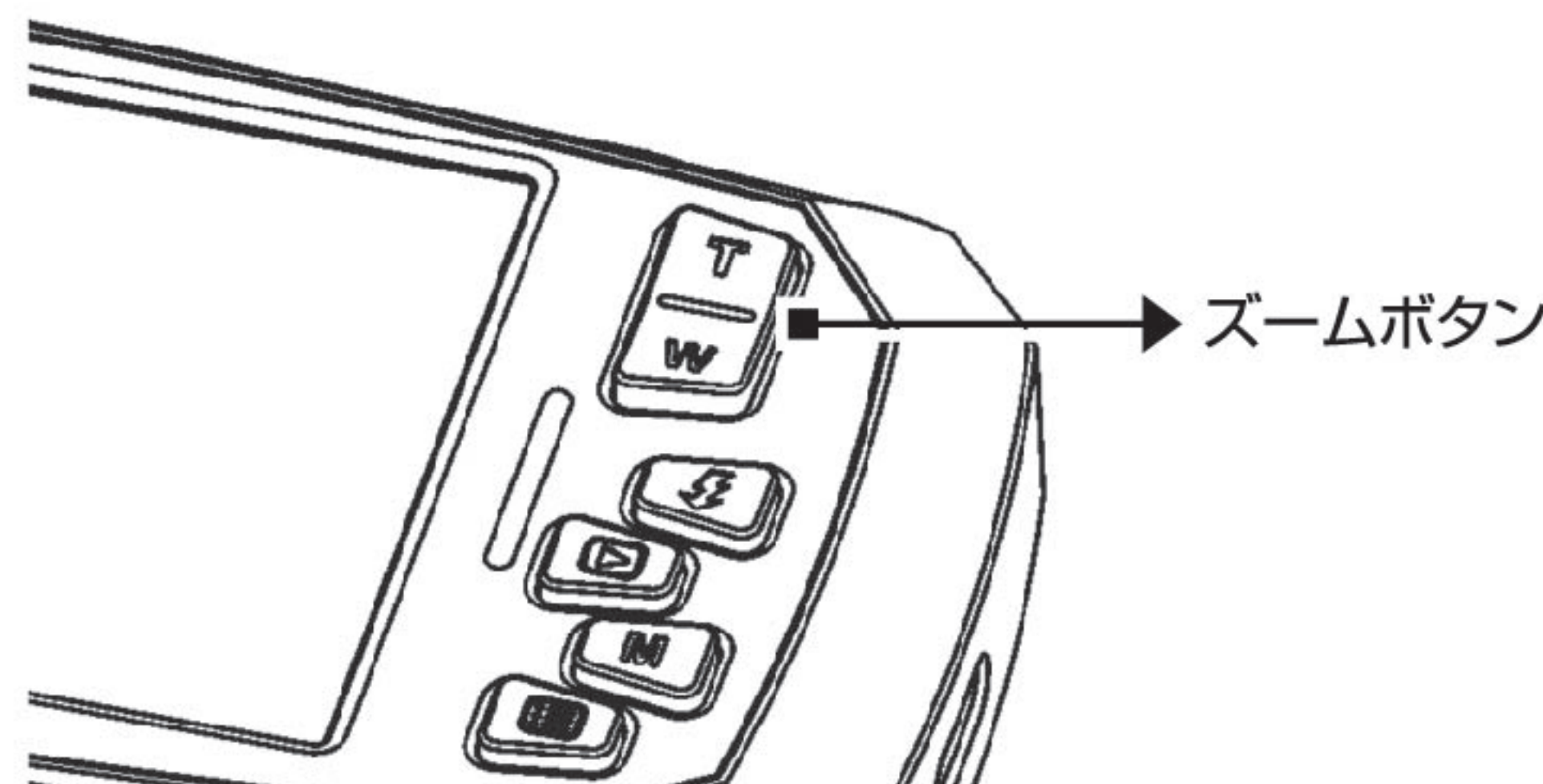
▶ ズーム撮影

デジタル4倍のズームが搭載されています。

ズームボタンのT側ボタンを押すと、ズームイン(拡大)します。
ズームボタンのW側ボタンを押すと、ズームアウト(縮小)します。



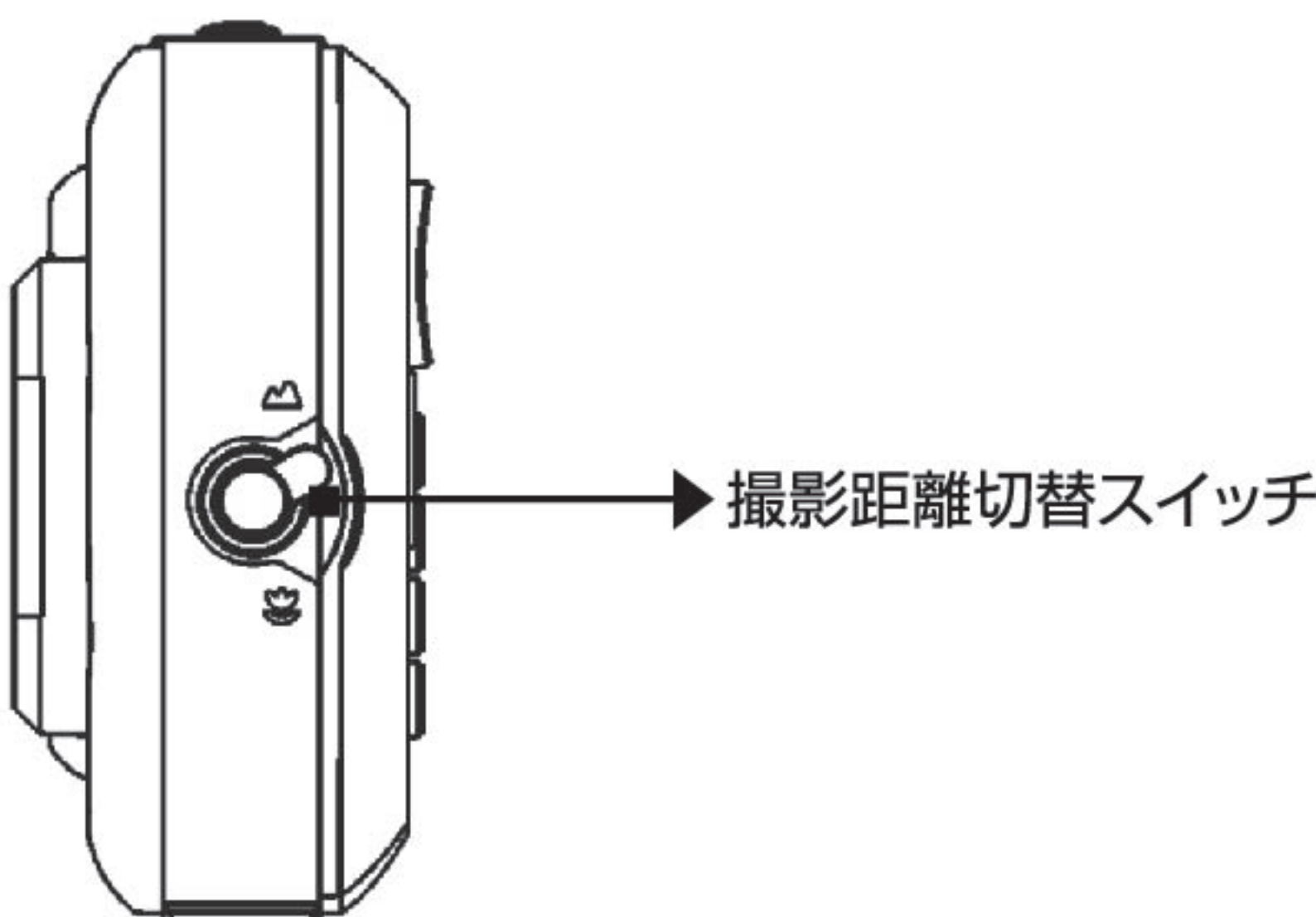
- ズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。



▶ 撮影距離

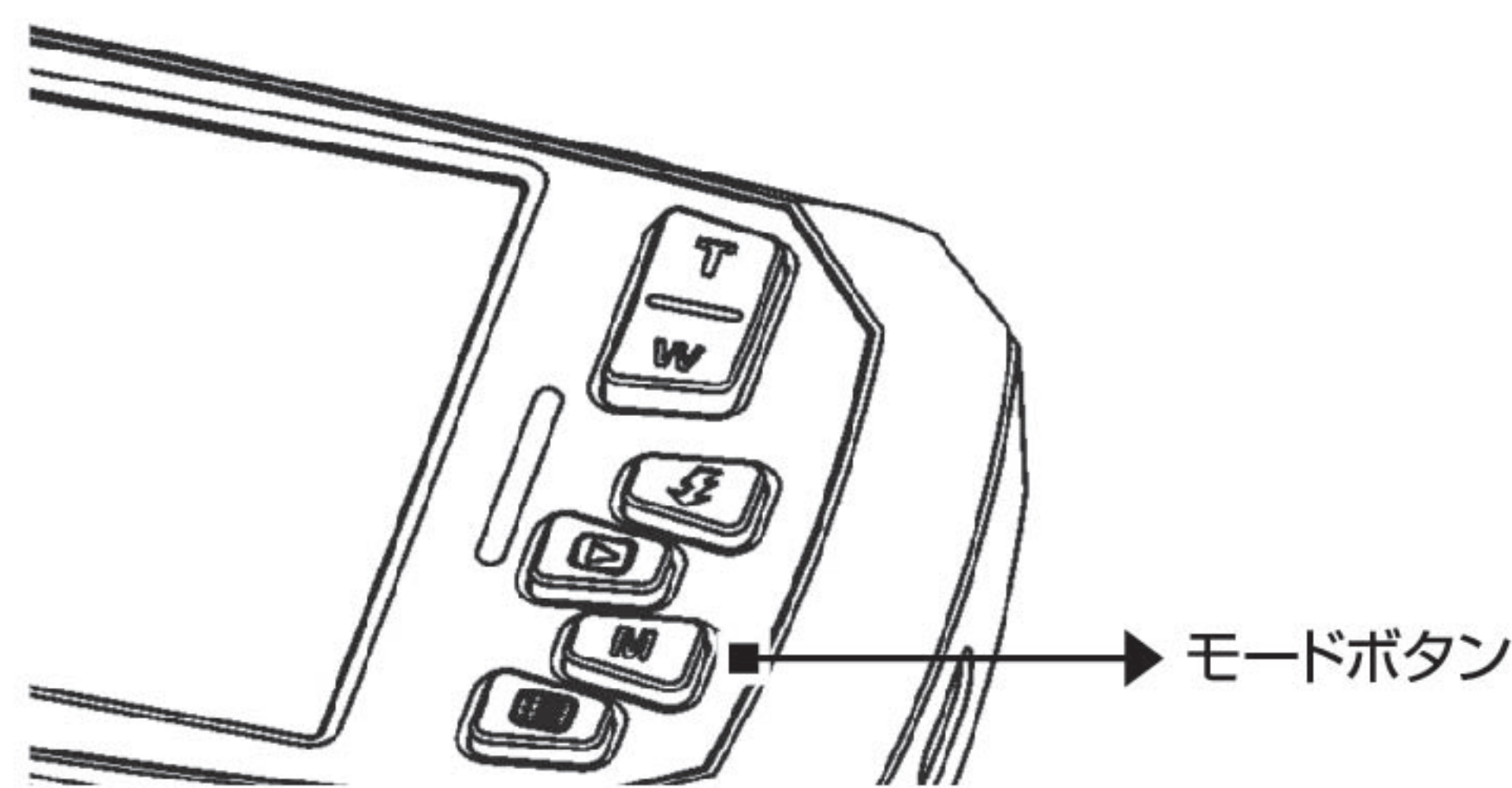
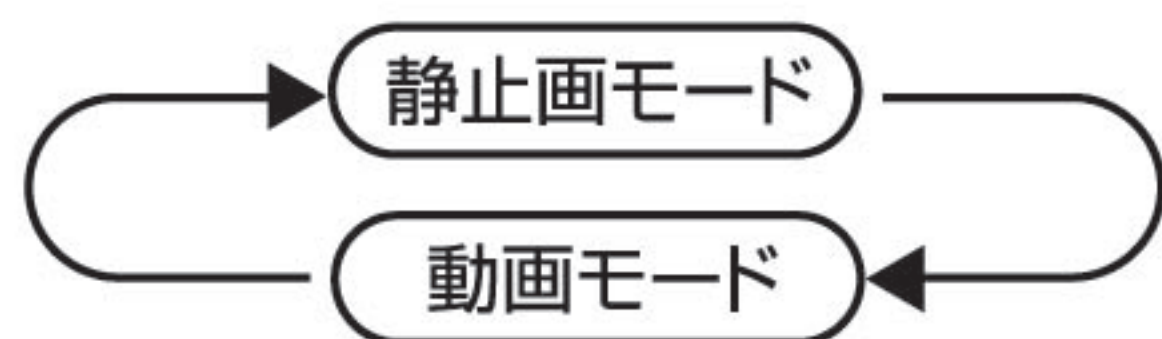
正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。
カメラ左側面の撮影距離切替スイッチで下記のいずれかを選択します。

- ∞ 標 準／約0.7m～∞(無限大)
- 🍷 マクロ／約13cm～約18cm



モードの変更

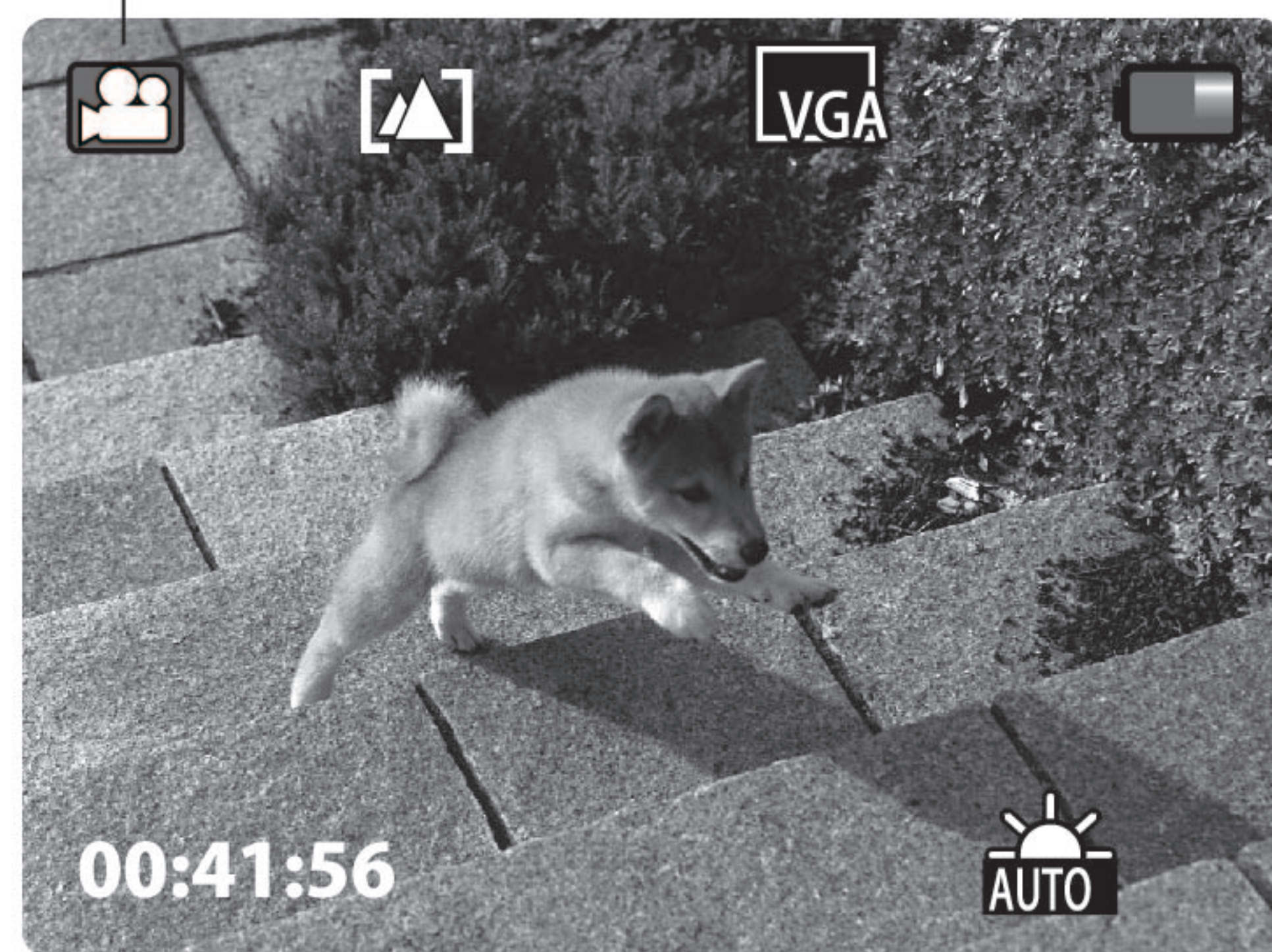
モードボタンを押すごとにモードが切替わります。
静止画モード／動画モードに切替わります。



動画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. モードボタンを押して「動画モード」にします。
3. 液晶モニターで、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
4. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
5. 動画撮影中に右／再生ボタンを押すと、一時停止します。
再度、右／再生ボタンを押すと動画撮影を再開します。
6. 撮影された動画は、個別のファイル名が付いて保存されます。

動画モード



- 一時停止中、「停止 II」アイコンが表示されます。
- 動画1ファイルの最大サイズは、4GBです。

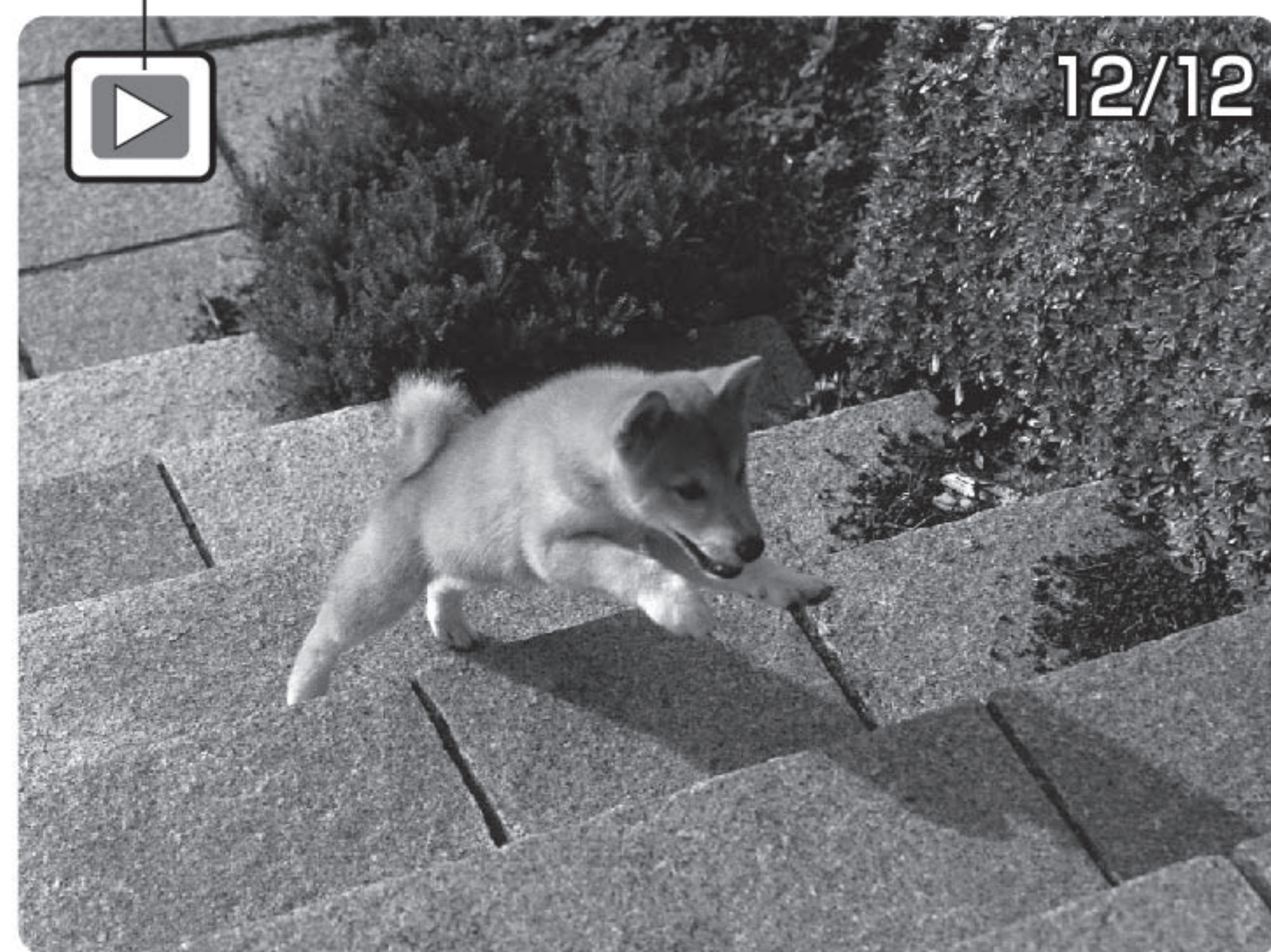


- ◆ 水中で撮影した場合、全体に青っぽくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画の再生

1. 電源をオンします。右／再生ボタンを押します。
最後に撮影された静止画・動画ファイルが液晶モニターに表示されます。
静止画ファイルを左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択します。
2. ズームボタンのT側(上)を押すと拡大表示されます。
W側(下)を押すと縮小して元に戻ります。
3. 拡大表示時、モードボタンを押すと上へ移動、メニューボタンを押すと下へ移動、
左／フラッシュボタンを押すと、左へ移動、
右／再生ボタンを押すと拡大部分が右に移動します。
4. ズームボタンのW側(下)を押し、縮小して元に戻ります。
モードボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

静止画再生モードアイコン

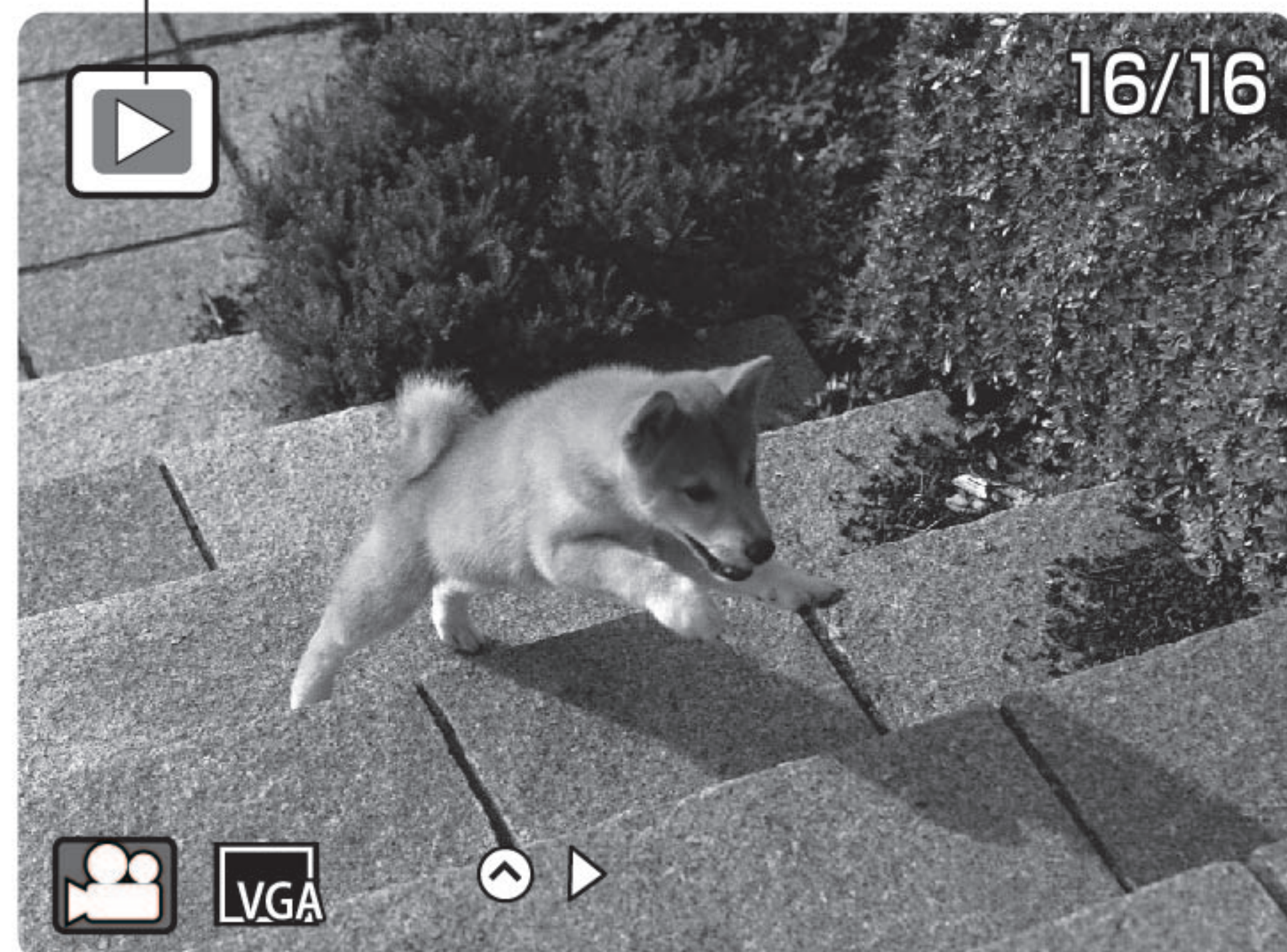


- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画の再生

1. 電源をオンします。右／再生ボタンを押します。
最後に撮影された静止画・動画ファイルが液晶モニターに表示されます。
動画ファイルを左／フラッシュボタンまたは右／再生ボタンを押して選択します。
2. 上／Tボタンを押すと再生を開始します。
右／再生ボタンを押すと早送り、左／フラッシュボタンを押すと早戻しします。
4. 上／Tボタンを押すと、再生が一時停止します。もう一度押すと、再生が再開します。
5. モードボタンを押すと再生を終了します。動画ファイルの最初のシーンに戻ります。
6. モードボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。

動画再生モードアイコン



- ◆ カメラでは、音声は再生されません。パソコンで再生時には音声も再生されます。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



注意

この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

防水性能

- カメラの防水性能は、IPX8です。
- 水中でのカメラの耐水性を維持するために、連続して60分以上使用しないでください。
- 付属のアクセサリは防水ではありません。

水中で使用する前の注意(砂だらけまたはほこりっぽい環境、または水辺で次の行為を行わないでください)

- 乾電池/microSDカードスロット・ミニUSB端子の周りが汚れていないことを確認し、ほこりや砂、または異物が中に入らないようにしてください。
- 電池/microSDカード室カバーのゴムパッキンに亀裂や傷が付いていないことを確認してください。
- 電池/microSDカード室カバーが閉じ、ロックがされていることを確認してください。
- カメラに異常がないことを確認します。カメラを落とした場合、販売店で故障していないか確認することをおすすめします。

通常使用の場合の注意(付属USB-PC接続ケーブルをコンピューターに直接接続する場合。電池/microSDカード室カバーに触れてゴムパッキンを傷つけないように注意してください。防水性能が失われる原因となります)

- 水辺(海、湖、海岸など)で電池/microSDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。濡れた手、または砂やほこりの付いた手でカバーを開けたり閉じたりしないでください。
- カメラに使用するアクセサリ(バッテリーなど)は防水ではありません。使用の際は十分に注意してください。
- 耐水性が失われることになるため、カメラを落とさないでください。
- 耐水性が失われないように、40℃ 以上または0℃以下の温度環境にカメラを保管しないでください。
- ご自分でカメラに防水を施したり通気口を密閉したりしないでください。カメラの防水機能が損なわれる原因となります。

カメラを水中などで使用するとき

- カメラの防水性は真水と塩水にのみ適用されます。洗剤、化学薬品、または温泉水には適用されません。このような液体がかかった場合、ただちに拭き取ってください。
- 水深3.0m以上の水中では使用しないでください。
- カメラを圧力のかかった水に浸けないでください。
- 60分以上長く、水に浸けないでください。カメラを水中で60分使用したら、10分以上乾かしてください。
- カメラを35℃以上の温水に浸さないでください。
- カメラが濡れていたり水中にある場合、電池/SDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
- 濡れた手で電池/microSDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
- 水気のあるところやプールの傍で電池/microSDカード室カバーを開けないでください。
- カメラは防じん処理を施されていません。
- カメラを水中で叩いたり打付けたりしないでください。電池/microSDカード室カバーが開くことがあります。
- 水中に飛び込むなどの衝撃をカメラに与えないでください。

カメラを使用した後

- 水中での撮影後は以下の簡単なメンテナンスで、カメラの外観、品質、耐水性が保たれます。
- 海中で写真を撮影した後は、塩分を含まない水の入ったバケツでカメラを洗浄してください。電池/microSDカード室カバーが閉じていることを確認し、バケツ1杯の水に10分ほど浸します。その後、水から取り出して、カメラとレンズを脱脂綿で拭いて乾かします。カメラを通気の良い日陰に置いて自然乾燥させます(直射日光に当てたり、風雨にさらされる場所に置かないでください)。カメラが完全に乾いたことを確認してから、電池/microSDカード室カバーを開けてください(脱脂綿を当てて水分をよく取るか、カバー周りの他の不純物を取り除いてから、電池/microSDカード室カバーを開けます)。
- 柔らかい糸くずの出ない布(繊維状の物質を防ぐため)でカメラとレンズの水滴を拭き取り、換気の良い場所において乾燥させます。電池カバーは乾燥しないうちに開けないでください。水気がある間に開けると、カメラに水が入るおそれがあります。開けるときは底面を下にして水滴がカメラ内部に入らないようにしてください。
- 電池カバーを開ける前に、必ずカバー内部の水滴を拭き取ってください。

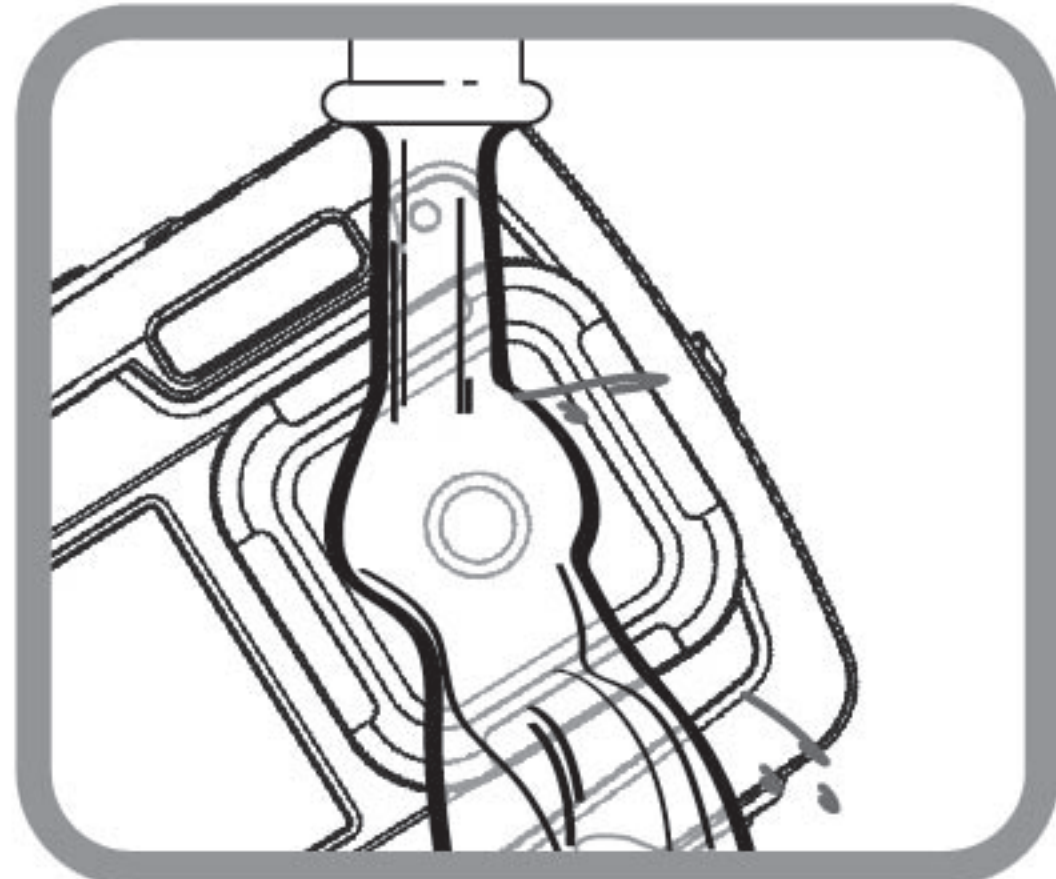
メンテナンス上の注意

- 防水のシーリング材やその収縮面のほこりや砂をよく拭き取ってください。ほこりや砂が残っているとシーリング材や面を傷つけ、防水性が落ちる可能性があります。
- 石けん水、中性洗剤、アルコールまたは類似液体でカメラを洗浄しないでください。カメラの防水性が落ちる原因となります。
- 防水用シーリング材の経年変化により防水性能は低下します。

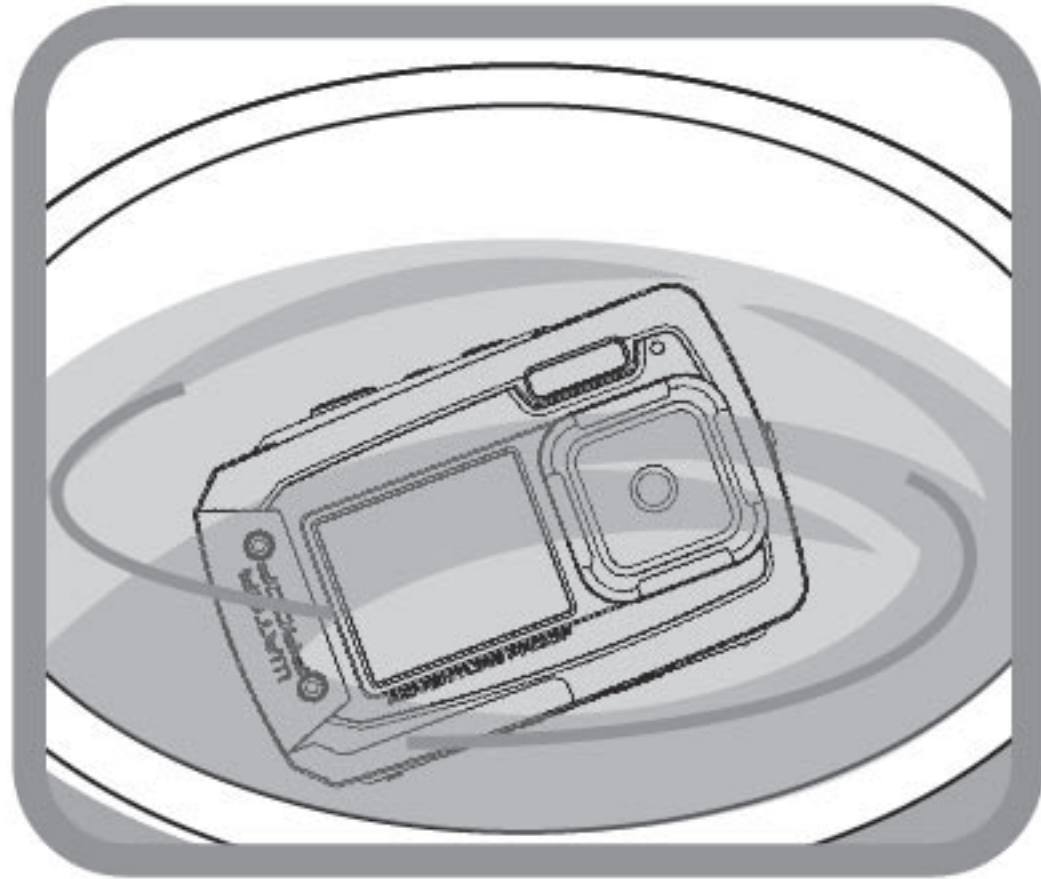
その他の注意

- 水中でカメラに水が入ったり、その他の問題が発生した場合、ただちに使用を中止し適切な処置を取ってください。処置方法は販売店またはKenko「お客様相談室」におたずねください。

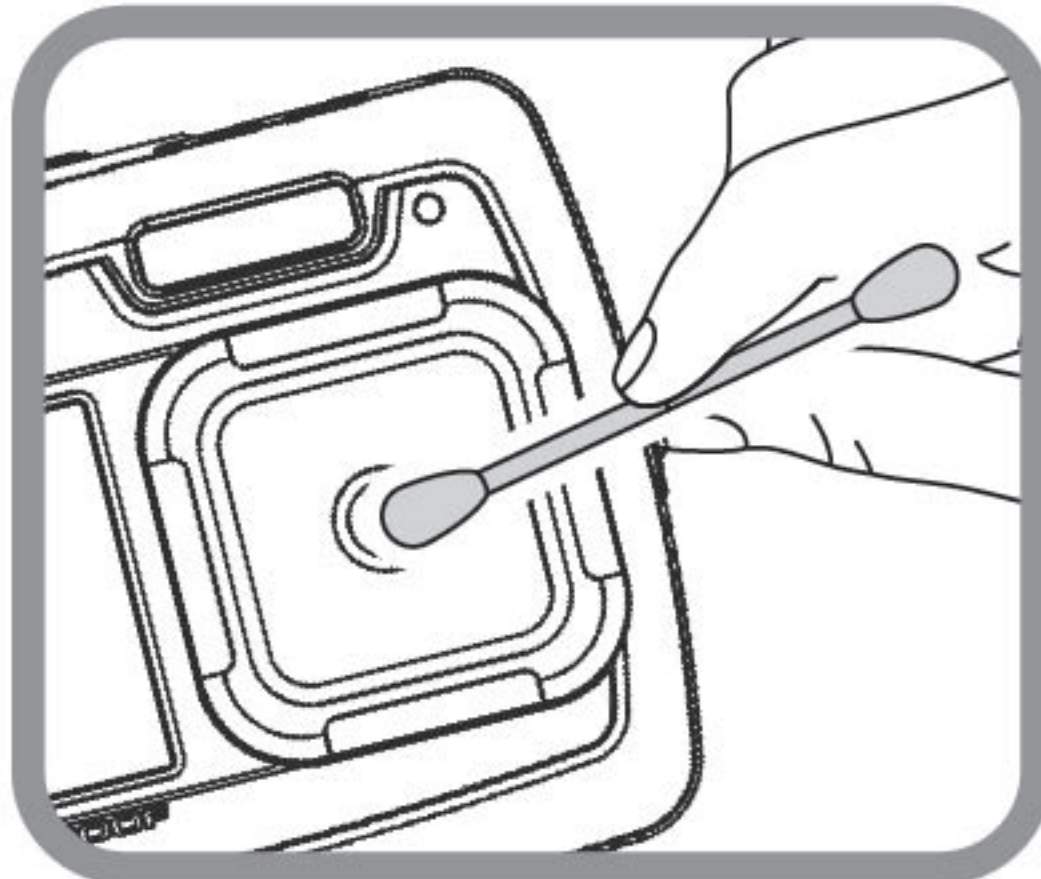
水道水で異物を洗い流します。



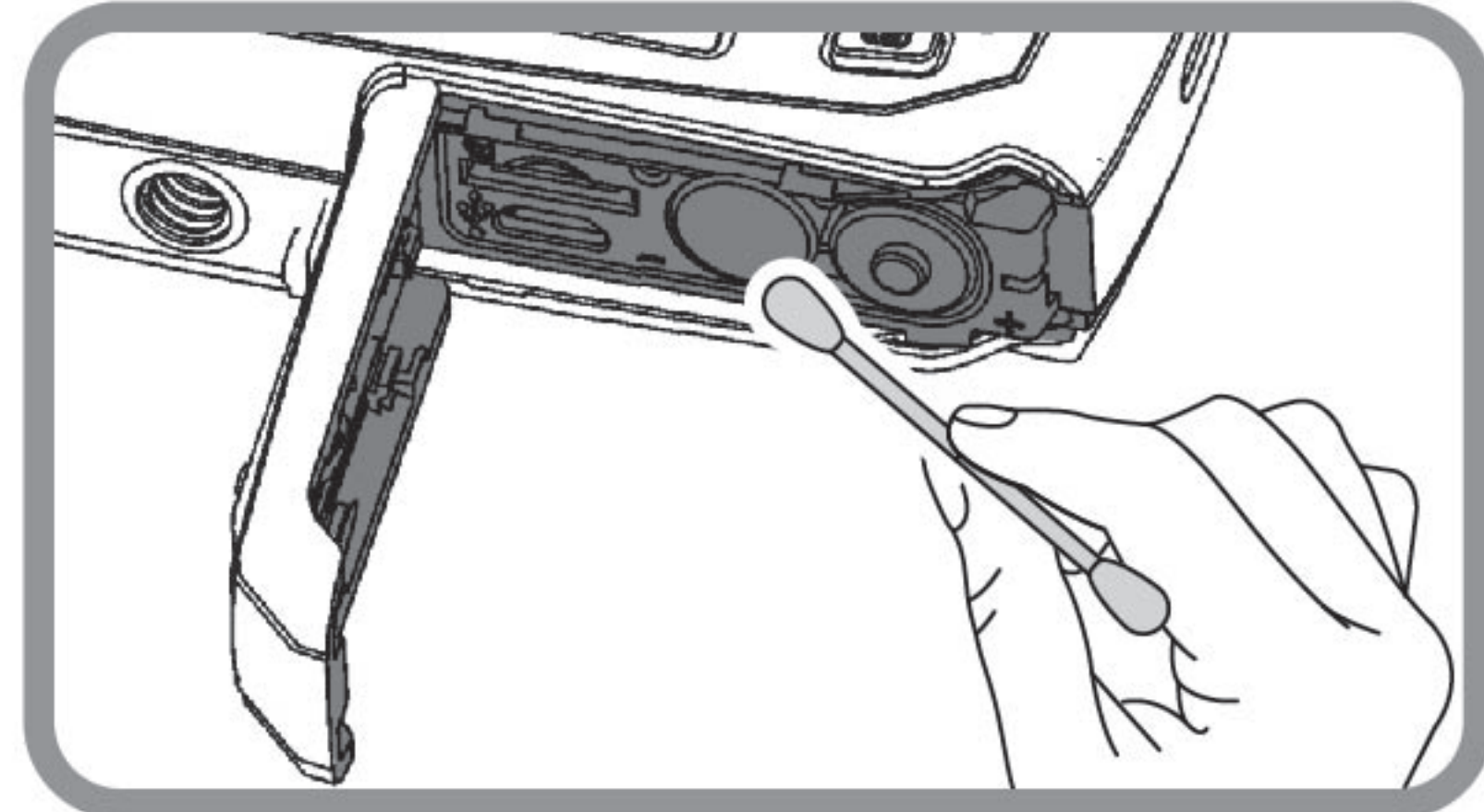
真水に10分程度浸します。



綿棒などで水滴を拭き取ります。



乾燥後、電池/SDカード室カバーを開きます。



耐衝撃性能

MIL-STD-810F Method 516.5-Shockを参考にした、当社独自の基準(高さ:1.5m、落下面:合板、厚さ50mm)での落下試験をクリア。
落下方向は6面12稜8角の合計26方向。
落下衝撃による塗装剥離、キズ、変形などの外観異常については不問とする。
全ての状態において、無破損、無故障を保証するものではありません。落下後の防水は保証いたしません。

※DSC 1480DWのより多くの機能をお使いいただくため、防水性を維持するためにも、取扱説明書もご覧ください。